

# ゴ 5 ミ 3 ゼロ 0 レポート

第49号 2009年11月30日 発行

編集と発行 530運動環境協議会  
〔豊橋市今橋町1番地 豊橋市役所環境政策課内 電話(0532)51-2414〕  
〔URL <http://www.530.toyohashi.aichi.jp> E-mail 530@city.toyohashi.lg.jp〕

## 530運動環境協議会の活動のようす



530運動環境協議会は、市民の皆さんと共に環境美化や省資源省エネルギーなど恵み豊かな環境を次の世代に引き継ぐための活動を実施しています。今年も春の530運動実践活動を始め、530のまち環境フェスタや幼児環境教育訪問指導、駅前クリーンアップ大作戦など様々な活動を実施しました。どの活動にも多くの方に参加していただきました。今後も豊橋市が530運動発祥の地にふさわしい美しいまちとなるよう活動を継続していきます。そこで、今回の530レポートでは今年10月末日までの当協議会の活動紹介をしていきます。

### 530会員募集のお知らせ

530運動環境協議会は、環境美化活動から省資源・省エネルギー、環境教育など、今後も様々な取組みを行い、ごみがゼロになる社会を目指します。  
本協議会では活動に参加・協力していただく会員を募集いたしております。法人・団体会員は1口1万円、個人会員は1口500円、いずれも年会費で1口以上です。申込は協議会事務局窓口のほか、ホームページからできます。

### 目次

- 新会長挨拶……………2
- 東愛知新聞社制定「特別社会賞」受賞……………2
- 幼児環境教育訪問指導……………3
- 530のまち環境フェスタ……………4
- 駅前クリーンアップ大作戦……………4
- 春の530運動実践活動……………4

## 新会長挨拶

平成21年4月24日に開催した平成21年度530運動環境協議会総会において、6年間もの永きにわたり会長として本協議会の先頭に立ち、530運動の普及と発展にご尽力された石井一陽前会長の後任として、新たに530運動環境協議会会長に、古澤功三新会長が就任しました。そこでこの紙面をお借りしまして、古澤功三新会長より皆様へ就任のごあいさつをさせていただきます。

### 古澤功三新会長

日ごろは530運動環境協議会へのご支援、ご協力ありがとうございます。

ごみのないきれいな町に住みたいというのはすべての市民の願いであり、豊橋市愛市憲章全5項目の最初の項目にも「心をあわせ美しい町をつくりましょう」とあります。それほどに生活の基礎と言うべき重要事項ではありますが、自分のごみを自分で持ち帰らない現実、ポイ捨てによる散乱ごみが、残念ながらまだまだあります。ここには、「気持ちと行動のギャップ」があるのでしょうか。このギャップを埋めるためには、「自分のゴミは自分で持ち帰らしましょう」の530運動の大原則を推進していくことが肝要と考えます。また、掛け声だけに終わらぬよう、本年度事業計画にあります530運動実践活動、クリーンアップ大作戦、幼児対象の環境教育をしっかりと、根気強くやっていくことが一番だと考えております。

できるだけ多くの方が運動にご参加いただければ、市民の気持ちと行動が一致してくるものと信じます。市民の皆さんと一緒に「心をあわせ美しい町をつくりましょう」。

そして、豊橋発祥の「歴史ある530運動」を更に盛り上げていきたいと思っておりますので、市民の皆様のお力添えをお願いいたします。



～ 530のまち環境フェスタで挨拶をする古澤会長～

## 東愛知新聞社制定「特別社会賞」受賞

地域社会の各分野で貢献した人たちをたたえる、東愛知新聞社制定の第25回「特別社会賞」を本協議会が受賞しました。表彰式において同賞公正委員の佐藤脩次氏(豊橋文化振興財団理事長)より「受賞を契機に、日本のゴミゼロのさらなる推進を期待する」と激励の言葉をいただきました。本協議会の活動が改めて認められたことを契機に、今後も本協議会は皆さんと共に530運動発祥の地として、「恵み豊かな環境を次世代に伝える」ため省エネ・省資源、地球環境保護に取り組んでいきます。



# 幼児環境教育訪問指導

530運動環境協議会では、平成16年度から幼保育園を対象として環境教育訪問指導を実施しております。今年は65園・約7,100人に参加していただきました。

年少児向けの授業では、人形劇の形を借り、楽しみながら実際にごみの分別を行い、そのごみ箱の中からリサイクル品を取り出すことで、なぜごみを分別する必要があるのかや、ごみの分別方法などを身につけてもらっています。年長児向けの授業ではごみ分別のおさらいから始まり、分別されたごみがリサイクルされる過程を説明しています。リサイクルの過程で生産されるフレーク、ペレット、ペットボトルからできた糸を展示したリサイクルコーナーを設置し見学していただき、リサイクルに対する関心を深めていただいています。また、今回の環境教育訪問指導では数園のみではありますが、電気のみで走行する電気自動車で訪問させていただきました。園庭での試走を見学していただき、ガソリンを使用せず、排気ガスが排出されないことを説明したことにより、環境に対してより興味をもっていただけたのではないのでしょうか。

環境教育は本年度で6年目を迎えます。昨年の授業の内容を覚えており「リサイクル」や「分けて捨てる」といった言葉が自然と出てくる子どもも多くおり、徐々に授業の内容が定着してきているようです。また各園でも普段からわかりやすいごみ箱を設置し園児と一緒に分別を行っていたり、清掃活動やごみ処理施設の見学を行っていたりと環境に対する意識が高まってきていると感じます。

今後も環境教育を行っていくことで環境に対する関心を高め、ごみについて考えるよいきっかけとなればと考えております。



## あしはら保育園

環境教育を受けて、子どもたちのごみに対する関心度が高まっています。「もやすごみ」と「プラスチック」のどちのごみ箱に捨てたらいいのかを子どもたちなりに考えて捨てています。その時のヒントになっているのが、講座の中のお話にあった「リサイクルマーク」です。「あっ、これは紙だ〜。」「お菓子の袋はプラスチックだよ。」と友だち同士でマークを確認しながら教え合う姿も見られます。また、保育園中のごみを毎日、年長さんのお当番さんが集めてまわってくれています。「もやすごみはありますか?」「プラスチック、入れてください。」2つのごみをしっかり分けて集めています。小さなクラスに行くと、「あっ、これはもやすごみだよ。」と優しくおしえてくれます。お手伝いを通して、子どもたちの中に、認められる喜びから、自信や責任感が育ってきています。そしてなにより、分別やリサイクルへの意識が自然と高まってきているのを実感しています。



## 花ヶ崎保育園

毎年、4・5歳児が環境教育訪問指導を受けております。お菓子の袋、ペットボトルなど実物を使って、また、クイズ形式でリサイクルについての話が進められ、わかりやすく、楽しく参加させていただいております。今年度は、ペットボトルのリサイクルの過程としての「フレーク」「ペレット」の実物も見せていただき、子供たちは目をみはり、驚きとともに、とても興味を持って見入っていました。受講後は、給食時やおやつの際に、「残さずに食べよう!ごみになっちゃうよね。」「ぶどうの皮はもやすごみだね。」お菓子の袋を見ては、「あっ!プラのマークだ。リサイクルできるね!」などという声も聞かれ、各保育室でも「もやすごみ」「プラスチック」のごみ袋に分けてごみを捨てており、今ではすぐに分別できるようになってきました。この講座をきっかけに、ごみの分別、リサイクルに関心が高まるきっかけとなり、家庭でも、「お母さん、これプラだよ!」と子どもに指摘されたという話も聞かれ、意識がたかまっている様子が伺われました。園においても、もやすごみ、プラスチック、の分別を実践していますが、今後も「ごみは、分けて捨てる」と生まれ変わる」という気持ちを大切に育てていきたいと思っております。





## 530のまち環境フェスタ

私たちが暮らす地球の環境に配慮し、今までの生活スタイルを見直すきっかけづくりとして地球環境、ごみ減量、リサイクル、省資源省エネルギーについて理解を深めるため、9月26日(土)に開催しました。

今年は天気にも恵まれ、約1万人の方に来場していただき、楽しみながら環境について学んでいただけたと思います。豊橋市役所と市役所前市民広場では小学4年生の清掃に関する作品の特選受賞者や地域資源回収で多くの資源を回収した団体、地域の清掃活動に尽力されている方を表彰しました。また、家庭用燃料電池やクリーンエネルギーの紹介など本協議会会員による出展や、牛乳パックからはがきなどを作る「紙すき」、抽選により自転車や小型家具などのリサイクル品が当たる「リサイクル品抽選会」など豊橋市による出展も行われました。そして、隣の豊橋公園ではフリーマーケットが行われ、一般家庭から約100店が出店し、大変な賑わいをみせていました。



## 駅前クリーンアップ大作戦

5月31日(日)に第1回駅前クリーンアップ大作戦を実施しました。「駅前クリーンアップ大作戦」は、豊橋の玄関であり、人通りの多い豊橋駅前のごみ拾いを実施することで、ごみを拾うことの大変さを伝え、ごみを捨てない心を培う目的で実施しています。今年は約100名の参加があり、約40kgのごみを回収しました。昨年は毎回約100kgのごみがあったことから考えると随分とごみの量が減りました。とは言うものの、やはりまだまだごみが多いというのが現実です。参加者からは、毎回のことから、ごみの多さに驚きの声が上がっていました。私たちはこれからも駅前清掃を続けていきますが、活動を通して拾うごみの量が減っていくことを願っています。近い将来「最近拾うごみがなくなったね」という言葉が参加者から出るようになれば、530運動発祥の地にふさわしいまちになるのではないのでしょうか。



## 春の530運動実践活動

5月30日の「ゴミゼロの日」を中心として、5月23日(土)～6月1日(月)の期間を春の530運動実践活動として全市一斉に530運動を実施しました。今年の春の530運動実践活動では約400団体で10万人の方に参加していただきました。春の530運動実践活動も今年で34年目を迎えます。このようにたくさんの方が530運動を長い間、広い地域で継続して続けていくことで、530運動に参加したり、530運動を実施している姿を見たりする機会が多くなり、市民1人1人がごみを捨てないことの大切さについて改めて考えることにつながっていると思います。今後もこのような活動を大切にしていきたいですね。

